

法吉小学校だより



法吉っ子

令和8年6月 文責 校長：伊藤英俊

法吉小のホームページも

どうぞご覧ください→



ほん気で考える子・つよい心をもった子・きょうも元気な子・このまちを大切にする子

◆感謝の言葉がもつパワー！

先日、こどもが廊下で私とすれ違うときに筆箱を落としました。私が拾うと、すぐさま会釈をして「ありがとうございます」と感謝を伝えてくれました。この姿を見てなんともすがすがしい気持ちになりました。

その時ふと、テレビで医師が言っていたことを思い出しました。ストレスの解消には、感謝の言葉を口にするるとよいと。感謝の言語化が、安定した精神を作り出してくれるとも。

その子は私に、感謝はどんなときも大切に気持ちが良いものだと思います。

「感謝」については、パナソニックの創業者である松下幸之助氏が、次のようなことを言っています。「感謝の心が高まれば高まるほど、それに正比例して幸福感が高まっていく」と。また、「感謝の思いは自然と伝わり、感動させる」とも。書籍の中では、会社では多くの人がさまざまな仕事をしているが、その一つ一つに感謝の気持ちをもつことが大切で、さらにその気持ちを言葉にして伝えることが大切であるとおっしゃっています。これは、学校でも家庭、地域でも同じですね。

学級に目を移すと、よく「友だちのよいところ見つけ」をします。そこに感謝の言葉を添えていけば、さらに心豊かで幸福なこどもたちが育つと期待が膨らみます。



◆運動会

五月晴れの中、「最後まで 全校みんなで 協力して かけぬけろ！」というテーマのもと、校内運動会を開催しました。延期日での開催とはなりましたが、天気にも恵まれ、応援も競技も最高の運動会となりました。6年生はリーダーとしてみんなを引っ張り、まとめる苦労も味わいながら、すばらしい運動会をつくり上げてくれました。当日だけでなく、計画、練習、準備などの活動を仲間とともに進めることを通して、全校が一体となり、法吉っ子一人一人が大きく成長できた運動会でした。

また、準備と片付けでは、たくさんの保護者の皆様が力を貸してくださいました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



◆たんぽぽの不思議

2年生の国語の教科書に、「たんぽぽ」という勉強があります。こどもたちが熱心に勉強しているので、教科書をのぞいてみると、驚愕。次のように書いてあるのです。



花がしぼむと、みがそだっていきます。みがじゅくすまで、花のくきは、ひくく たおれています。みがじゅくしてたねが できると、くきはおき上がって、たかくのびます。

なんと、種ができるまでの間、くきは低く倒れているというのです。もう一度起き上がるならば、倒れている必要はないのでは？と思うではないですか。皆さんだったら、どう思いますか。

好奇心に火がつき、居ても立ってもいられず教科書をパラパラとめくったのですが、理由については触れられていません。図書館に飛んでいきましたが、やはり理由は分からず。

なので、インターネットで学術的に書かれている文献を探してみました。

Q. 花が咲き終わると踏まれているわけでもないのに、花茎が地面近くまで倒れているのを見たことがあると思いますが、なぜだと思いませんか？

A. これは茎が細くやわらかいので、立ちあがったままだと風などで折れやすいためではないかといわれています。この倒れている間にタネが熟すのです。そして茎も伸びて花のときよりも長くなります。タネが熟すとまた立ち上がります。これはできるだけ高くのびあがって、風を受け遠くまでタネを飛ばすためなのです。

参考：21世紀の森と広場パークセンターだより 108号（千葉県松戸市）

なるほど、種を確実につくるためのたんぽぽの知恵だったのですね。遺伝的にプログラムされているのです。面白いです。そして、2年生の勉強、奥が深いなあと思いました。

◆学校運営協議会

学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の、今年度第1回会議を5月20日に開催しました。保護者代表、地域住民代表などから7名の委員さんにお世話になります。

委員は、地域から「若林三成さん、木次三八郎さん、安達卓生さん、松浦ぎん子さん、岩本千代さん、吉岡正弘さん」で、保護者代表として「本庄聡美さん」で構成されています。

学校経営方針や教育課程、学校評価、学校と地域の連携による教育の充実に関することなどについて審議、意見交換をしていただきました。

意見交換をする中で、うれしいお話も聞くことができました。

- ・今年、登校班で6年生の班長があいさつをよくするので、班員のあいさつもよくなってきた。
- ・畑仕事をしていると、「何しちょー」とこどもから声をかけてくれる。そこから会話がはずんで、心地よいし、こどもから元気をもらえる。
- ・電線にカラスの巣ができているのをこどもが見つけた、「中電に電話せんと」とお家の方に伝え、対応がなされた。こどもも地域の一員だと思った。

これらのお話をうかがい、「あいさつをして町を明るくし、地域の方と会話したり町のために気づいて動いたりできるこどもを育てたい」と心に刻みました。



ほうきどり

校庭芝生管理、野菜づくり、ベルマーク集計、読み聞かせ、登下校の見守り等々、今月も保護者、地域の皆様からたくさんのご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。

電話：0852-21-4354FAX：0852-21-4359Mail：hokki-e@city.matsue.ed.jp